

西区区ビジョンまちづくり計画 第2次実施計画 進行管理表
(令和7年度実施事業)

【目指す区のすがた別】

※再掲を除く

目指す区のすがた	成果	事業数
Ⅰ 人と人がつながり、支え合うやさしいまち	達 成	19
	概ね達成	0
	一部達成	0
	未達成	0
	小 計	19
Ⅱ 安心・安全で快適に暮らせるまち	達 成	35
	概ね達成	1
	一部達成	1
	未達成	0
	小 計	37
Ⅲ 豊かな自然と食を楽しめるまち	達 成	24
	概ね達成	3
	一部達成	0
	未達成	0
	小 計	27
Ⅳ 区民が主役の活力あるまち	達 成	31
	概ね達成	2
	一部達成	0
	未達成	0
	小 計	33
合 計		116

【全体】

成果	事業数
達 成	109
概ね達成	6
一部達成	1
未達成	0
合 計	116

Ⅰ 人と人がつながり、支え合うやさしいまち

1 自分らしく生き生きと暮らせるまち

地域の中で人と人とのつながりを大切に、誰もが元気で健康的に生活できるまちを目指します。

(1) 健やかに、生き生きとした暮らしづくり

- ① 若年層の中でも子育て世代は自分の子どもの健康に関心が高く、子どもの健康から自身および家族の健康について考える機会が多いため、働きかけの対象として効果的であり、重点対象として実施します。

主な取り組み						担当課
●自分の健康に関する区民一人一人の意識啓発の継続						
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	健康ステップアップ事業	若年層へ事業周知を積極的に行い、地域からの依頼を受けて、健康講座を行います。	年25回実施	達成	健康講座を計29回実施し、目標を達成した。引き続き事業の周知に取り組み、子育て世代への啓発を強化する	健康福祉課

- ② 自身の健康の維持・増進のため、特定健診の受診勧奨を行い、受診率の向上を図ります。

主な取り組み						担当課
●健康づくりにつながる健（検）診への受診勧奨						
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	各種保健事業での受診勧奨	健康教育等で特定健診やがん検診の受診勧奨を行います。	2,000人	達成	各種事業やイベント等で2,411人に対し受診勧奨を行った。今後も様々な機会を捉えて特定健診・がん検診の受診を勧奨していく	健康福祉課

- ③ 健康寿命の延伸のため、生活習慣病の発症・重症化を予防する食生活や運動習慣が継続できるよう働きかけます。

主な取り組み						担当課
●健康寿命延伸のための食生活や運動習慣の継続のための啓発						
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	健康的な生活習慣の継続を啓発する健康相談及び健康教育	生活習慣病のハイリスク者へ案内を行い、健康相談及び健康教育を行います。	13%	達成	健康相談や食事・運動のセミナーを実施し、今年度の参加率は16.5%であった。健康寿命のさらなる延伸を目指し、引き続き各種事業を実施する	健康福祉課

- ④ 区民一人一人が、互いの人権を尊重し、個人の状況に応じて、仕事と育児や家事、介護などの家庭生活との調和を図ることができるよう、男女共同参画地域推進員と連携し、講座や講演会の開催、広報紙などを活用した啓発活動を進めます。

主な取り組み						担当課
●地域推進員と連携した、男女共同参画に関する啓発事業の実施						
●広報紙などを活用した、男女共同参画に関する継続的な広報・啓発の実施						
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	男女共同参画地域推進事業	地域推進委員と連携し、男女共同参画に関する意識啓発と理解促進を図る事業を実施するとともに、西区だよりに掲載します。	年1回啓発事業を実施	達成	「カーリンコン交流会と俺でもできる男のキッチン」を開催し、45名が参加した。実施後のアンケートでは、97.7%の人が「まあまあ満足」「満足」と回答した。引き続き、男女共同参画に関する意識啓発に取り組む	地域課
			年1回西区だよりに掲載	達成	上記事業の様子や参加者の声を掲載するとともに、意識啓発と理解促進を図る記事を西区だより令和8年3月15日号の1面特集記事に掲載した	地域課

(2) 超高齢社会で共に支え合い、助け合う仕組みづくり

- ① 高齢者が、地域の支え合いの中で自主的に健康づくりや介護予防に取り組み、生きがいを持ちながら暮らせる環境づくりを進めるための支援を行います。

主な取り組み						担当課
●地域の茶の間などの超高齢社会を地域で支え合う仕組みへの支援						
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	地域共生の西区づくり事業	地域の茶の間を充実を図り、支え合い活動を広めるため、研修会等を開催します。	2回開催	達成	10月23日に支え合いのしくみづくり研修会（参加人数：26人）を、2月26日に地域の茶の間交流会（参加人数：60人）を開催した。次年度も引き続き研修等を年2回開催する	健康福祉課

Ⅰ 人と人がつながり、支え合うやさしいまち

- ② 年齢を重ねると外出の機会が減り、要支援・要介護につながる恐れがあり、力や心が弱くなっていく状態に陥ることが心配されるため、健康寿命の延伸と介護予防を図ります。

主な取り組み ●フレイル予防事業（フレイルチェックをR5年度から実施）						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	フレイル予防事業	健康寿命の延伸と介護予防を図るためフレイルチェックを行います。	180人	達成	今年度から3会場を追加し、区内全5圏域で実施した。参加人数は計198人で目標を達成した。次年度はより住民が参加しやすい会場で実施し集客をはかる	健康福祉課

- ③ 広く区民に認知症への理解を深めていき、認知症の人が自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指します。

主な取り組み ●認知症の予防と早期発見・早期対応と認知症への理解を深める取り組みの実施						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	西区認知症オレンジプロジェクト	認知症の簡易検査と予防セミナーを開催します。	300人	達成	参加人数は計472人（検査：120人、セミナー：352人）であった。認知症の理解が広がるよう、次年度は事業の周知を強化する	健康福祉課

- ④ 引き続き高齢者の権利を擁護し、虐待防止に取り組んでいきます。

主な取り組み ●成年後見制度の活用推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	高齢者権利擁護事業	成年後見制度を含めた高齢者権利擁護セミナーを市民向けと介護事業所向けに開催します	年2回開催	達成	10月4日に市民向けセミナーを開催し、参加人数は31名であった。また、11月18日に介護事業所向けセミナーを開催し、参加人数は42名であった。今後セミナー等を開催し、高齢者の権利擁護を周知していく	健康福祉課

- (3) 障がいの有無によらず安心して暮らせる共生社会

- ① 障がいの特性や状態に応じたサービスの提供などを通じて、障がいのある人が住み慣れた地域で自立し、安心した生活が送れるよう、「共生社会」の実現を目指します。

主な取り組み ●障がいのある人の就労支援として、基幹相談支援センターなどの関係機関と連携を図り、多様な相談に対応できるよう相談支援体制の強化に取り組みます。						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	西区障がい者地域自立支援協議会の運営	障がいのある人が高齢化・重度化しても、住み慣れた地域で自立し、安心した生活が送れる支援体制の構築に向け、障がい者自立支援協議会で協議・検討を行います。	年4回開催	達成	自立支援協議会を5月16日、8月22日、11月21日、2月20日の計4回開催した。次年度も同様に年4回開催する	健康福祉課

主な取り組み ●障がいのある人への理解を広め、障がいのある人が地域で自立した生活を送れるよう支援します。						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	障がい者自立支援応援事業	障がいの多様性について理解を深めてもらうため、西区内の障がい関連事業所と連携し、区主催のイベントや障がいの有無に関係なく参加できるワークショップを開催します。	年1回開催	達成	11月8日の西区ふれあいあきまつりで、障がいの有無なく参加できる「福祉に関するなぞとき」イベントを関連事業所と連携し開催した。今後も障がい福祉への理解を深める啓発活動を行っていく	健康福祉課

- (4) 多様な主体による地域福祉の推進

- ① 地域住民や福祉関係者などの多様な主体との協働による健康づくりや介護予防など、地域における社会参加や交流の場づくりの活動を支援します。

主な取り組み ●いきいき西区ささえあいプランの推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	地域福祉計画推進事業	いきいき西区ささえあいプラン推進委員会を開催します。	年2回開催	達成	第1回を8月22日、第2回を9月30日に推進委員会を計画とおり開催した。次年度も引き続き推進委員会を開催していく	健康福祉課

Ⅰ 人と人がつながり、支え合うやさしいまち

- ② 対象者の属性やリスクごとの分野や制度の枠を超えた、「地域」という共通の視点を持ち、人と人とのつながりや社会参加を進め、お互いに助け合い、支え合う「地域共生社会」を目指します。

主な取り組み ●自分の健康に関する区民一人一人の意識啓発の継続【再掲】					担当課
No.	事業名	概要	R7目標	評価	実績と今後の方向性
1	健康ステップアップ事業【再掲】	若年層へ事業周知を積極的に行い、地域からの依頼を受けて、健康講座を行います。	年25回実施	達成	健康講座を計29回実施し、目標を達成した。引き続き事業の周知に取り組み、子育て世代への啓発を強化する

主な取り組み ●地域の茶の間などの超高齢社会を地域で支え合う仕組みへの支援【再掲】					担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性
1	地域共生の西区づくり事業【再掲】	地域の茶の間を充実を図り、支え合い活動を広めるため、研修会等を開催します。	年2回開催	達成	10月23日に支え合いのしくみづくり研修会（参加人数：26人）を、2月26日に地域の茶の間の交流会（参加人数：60人）を開催した。次年度も引き続き研修等を年2回開催する

2 子どもたちの笑顔で健やかな育み

子どもたちの健やかな育みを応援する、やさしいまちを目指します。

(1) 子どもたちの笑顔で健やかな育み

- ① 地域で安心して子育てができるよう、地域の中で一人一人に寄り添った相談体制の構築を進めるとともに、子育て支援関係者のネットワークづくりを支援します。

主な取り組み ●地域の関係機関と妊娠子育てほっとステーションの連携強化					担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性
1	妊娠子育てほっとステーション連携強化事業	連携会議・合同研修会・子育て支援者交流会等を開催します。	開催	達成	関係機関との連携会議や情報交換会を5回、母子保健従事者研修会を2回開催した。次年度は連携会議を3回、研修会を1回実施予定

- ② SNSの活用により、効果的で分かりやすい子育て情報の発信を行います。

主な取り組み ●子育て世代へのLINEによる子育て情報発信					担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性
1	LINEによる子育て応援情報配信事業	LINEアプリにより、妊娠週数や月齢に合った情報を配信します。	新規登録者数600人	達成	R7年度新規登録者数は639人で、目標を達成した。次年度も引き続き子育て情報の発信を行っていく

- ③ 連携拠点圏を中心に、西区全体の教育・保育の質の確保・向上に取り組みます。

主な取り組み ●西区の私市立教育・保育施設合同研修会の開催					担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性
1	私市立教育・保育施設合同研修会の開催	私市立教育・保育施設合同研修会を開催します。	年30回開催	達成	施設長・リーダー・保育士・調理担当者などの各種研修を年30回開催した。次年度は研修方法の変更により、合同研修の回数は減少する予定であるが、引き続き開催していく

- ④ 子ども家庭総合支援拠点の取り組みを推進し、課題を抱える子どもや家庭への適切な支援につなげます。

主な取り組み ●課題を抱える子どもや家庭ごとに個別ケース検討会議を開催					担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性
1	個別ケース検討会議の開催	個別ケース検討会議を開催します。	開催	達成	R7年度は検討会議を計76回開催した。今後も継続して会議を実施し、課題を抱える子どもへの適切な支援へつなげていく

Ⅰ 人と人がつながり、支え合うやさしいまち

2 子どもたちの笑顔で健やかな育み

子どもたちの健やかな育みを応援する、やさしいまちを目指します。

(2) 子どもたちが安心して過ごせるまちづくり

- ① 子どもたちが安全で自由に過ごすことができるよう、公民館の一室または共有スペースを「子どもの居場所」として開放し、青少年のための健全な環境づくりを進めます。

主な取り組み ●青少年の健全育成の推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	青少年の居場所づくり事業	子どもたちが安全で自由に過ごすことができるよう、公民館の一室または共有スペースを「子どもの居場所」として開放します。	子どもの居場所開設数5館	達成	坂井輪・西・黒崎・黒崎北部・小針青山の5館で実施しました。引き続き実施します	坂井輪地区公民館

- ② 就労などにより保護者が家庭にいない児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供するため、放課後児童クラブの整備や狭隘化の解消、学校や児童館・児童センターなどとの連携を強化します。

主な取り組み ●放課後児童の居場所整備						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	放課後児童の居場所整備	放課後児童クラブの整備や狭あい化の解消および学校や児童館などと連携します。	実施	達成	狭あい化の解消に向けて、放課後児童クラブの現状と課題について関係機関と適宜情報共有を行った。今後も継続して連携を図っていく	健康福祉課

- ③ 子どもたちが安心して過ごせる居場所を確保するため、地域団体やNPO法人などが実施する、「親子の居場所」や「子ども食堂」などとの連携を図ります。

主な取り組み ●子どもが安心して過ごせる居場所づくり						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	子どもが安心して過ごせる居場所づくり	子育て支援者交流会を開催します。	年1回開催	達成	子育て支援者交流会を11月19日に開催し、33団体43人が参加した。今後も交流会を継続して開催する	健康福祉課

II 安心・安全で快適に暮らせるまち

1 優しさで助け合える災害に強い地域づくり

日頃から災害に備えやさしく助け合える地域づくりを進めます

(1) 区民と取り組む地域防災力の向上

① 防災訓練や避難所運営など地域が自主的に取り組む防災活動を支援するとともに、地域の防災リーダーの育成を促進します。

主な取り組み ●自主防災組織への支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	地域防災力育成事業	自主防災組織等が実施する防災訓練にかかる経費や資格取得費用を助成します。	実施	達成	49件の防災訓練について助成金を交付した。引き続き適切な防災訓練助成・資格取得助成に取り組む	総務課

② 区民一人一人が自分の安全を確保できるよう、地域に応じた防災知識の普及啓発活動に取り組みます。

主な取り組み ●防災知識の普及啓発 ●地域と避難行動要支援者の関係づくり						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	防災活動支援事業	講習会や研修会の開催、防災教育支援のほか、土砂災害時の避難情報を地域へ一斉に伝達する体制を確保します。	実施	達成	各種講習会の開催や防災教育支援に取り組んだほか、土砂災害時の一斉配信できる体制を整えた。引き続き各事業を着実に進めていく	総務課

③ 災害時の円滑な避難所運営のため、地域住民、施設管理者、行政の3者で取り組む避難所運営体制の構築を進めます。

主な取り組み ●避難所運営委員会の設立支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	避難所運営講習会等の開催	地域を主体とした避難所運営に関する講習会等を開催します。	実施	達成	運営委員会未設立の地域を対象とした講習会を開催し、5つの避難所において委員会が設立された。今後も未設立地域を対象とした支援を行っていく	総務課

(2) 安心・安全なまちづくり

① 浸水対策施設の整備による雨水の排出能力の強化や、自助・共助対策の促進など、ハード・ソフトが一体となった総合的な浸水対策により被害の軽減を目指す。

主な取り組み ●雨水排除能力の強化						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	浸水対策事業	浸水対策施設の整備による雨水の排出能力の強化や、自助・共助対策（防水板、貯留タンク等）の促進など、ハード・ソフトが一体となった総合的な浸水対策により被害の軽減を目指す。	雨水排除能力の強化の推進	達成	浸水対策施設の整備による雨水の排出能力の強化を行った。今後も総合的な浸水対策により被害の軽減を目指す	建設課

主な取り組み ●自助・共助対策の推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	自助・共助対策推進事業	浸水対策施設の整備による雨水の排出能力の強化や、自助・共助対策（防水板、貯留タンク等）の促進など、ハード・ソフトが一体となった総合的な浸水対策により被害の軽減を目指す。	自助・共助対策の推進	達成	自助・共助対策の推進を行った。今後も総合的な浸水対策により被害の軽減を目指す	建設課

2 快適な住環境づくり

うるおいとゆとりのある快適な住環境づくりを進め、明るい笑顔で住みたい・住んで良かったと思えるまちづくりを目指します。

(1) 地域を守る防犯活動

① 警察や地域コミュニティ協議会・自治会などと協働して、街頭啓発活動や地域の防犯パトロールを推進します。

② 地域の防犯力向上のため、地域に密着した防犯ボランティア活動に取り組む団体を支援します。

主な取り組み ●盗難や特殊詐欺の被害防止に関する啓発活動や防犯パトロールの実施						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	地域と協働した街頭防犯活動の実施	啓発品を配布するなどの街頭防犯活動を地域と協働して行います。	16回	達成	3月末までに23回の街頭防犯活動を行った。引き続き積極的な啓発活動に取り組む	総務課

② 地域の防犯力向上のため、地域に密着した防犯ボランティア活動に取り組む団体を支援します。

主な取り組み ●地域に密着した防犯活動に取り組む防犯ボランティア団体への支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	区民の安心安全対策事業	防犯ボランティアネットワーク団体への登録を促進し、登録団体へ活動用品を貸与します。	実施	達成	1団体の新規登録があり、活動用品の貸与等の支援を行った	総務課

II 安心・安全で快適に暮らせるまち

主な取り組み ●地域全体で子どもの見守りができる仕組みづくりの推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	IoT技術を活用した登下校子ども見守り事業	見守り活動を補完するため、子どもの位置情報を記録する見守り端末を無償で配布します。	全校で実施	達成	区内全小中学校で見守り事業を実施している	総務課

(2) 交通安全の推進

① 交通安全教室や警察、地域および関係団体と連携した街頭啓発活動を通じて、交通安全意識の向上を図り、交通事故防止を推進します。

主な取り組み ●幼児、児童、生徒、保護者、高齢者を対象とした交通安全教室						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	交通安全教室の実施	各園、各小中学校、高齢者の会合などで、交通安全教室を開催します。	実施	達成	予定どおり児童・高齢者等への交通安全教室を開催した。今後も年長児を対象とした教室等の開催を続けていく	総務課

主な取り組み ●警察や地域とともに実施する街頭啓発活動						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	交通安全推進事業	啓発品を配布するなどの街頭啓発活動を地域と協働して行います。	16回	達成	23回の街頭防犯活動を行った。引き続き積極的な啓発活動に取り組む	総務課

② 交通量の多い道路における歩行者などの安全を確保するため、歩道の整備やガードレールなどによる歩車道との分離、カラー路面標示など危険箇所ごとに対策を進めます。

③ 子ども見守り隊の活動を応援し、警察などの関係機関と連携を図りながら通学路などにおける子どもの安全対策や防犯対策に取り組みます。

主な取り組み ●通学路の危険箇所の対策						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	通学路交通安全推進事業	地域や警察、学校関係者と連携を図りながら通学路などにおける危険箇所の対策に取り組みます。	危険箇所の対策	達成	地域や警察、学校関係者と連携を図りながら通学路などにおける危険箇所の対策に取り組んだ。今後も、危険箇所の対策に取り組む	建設課
2	通学路交通安全推進事業	教育支援センター、建設課、西警察署の三者が連携し、学校や地域とともに通学路の合同点検を実施、西区通学路安全対策推進会議において対策の方針を取りまとめます。	西区通学路安全対策推進会議の開催。(年2回) 危険箇所の合同点検の実施。	達成	6月、8月安全対策推進会議開催、7月危険箇所の合同点検実施した。今後も交通安全プログラムのPDCAサイクルを繰り返し実施していく	教育支援センター

主な取り組み ●道路での歩道及び自転車走行路の路面表示による分離						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	歩行者・自転車安全確保事業	地域からの要望等を踏まえ、危険度合いに応じて、ガードレール・路面標示等の適切な維持管理及び対策を進めます。	路面標示の適切な維持管理及び対策	達成	ガードレール・路面標示等の適切な維持管理及び対策を実施した。今後も路面標示等の適切な維持管理及び対策を進める	建設課

主な取り組み ●自転車歩行者道の整備						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	自転車歩行者道整備事業	自転車歩行者道整備事業を推進します。	整備に向けた路面修繕	達成	整備に向けた路面修繕を実施した	建設課

(3) 地域と取り組む緑化の推進

① 良好な住環境の創出につなげていくため、きらら西公園などの公園緑地や、街路樹の整備を進めます。

主な取り組み ●きらら西公園の整備						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	きらら西公園整備事業	「みどりに囲まれた多様な世代が楽しめるホスピタリティあふれる総合公園」をコンセプトとした公園を整備します。	整備推進	達成	西部地域土木事務所により、わんぱく広場の盛土工事を発注し、年度末までに一部盛土工事を完成した	建設課

主な取り組み ●公園や街路樹などの維持管理						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	公園緑地・街路樹維持管理事業	安全性を優先しながら、既存の公園緑地や街路樹の保全を推進します。	公園や街路樹などの維持管理	達成	安全性を優先しながら、既存の公園緑地や街路樹を保全する	建設課

II 安心・安全で快適に暮らせるまち

② 地域住民の協力を得ながら緑を育み、維持管理を行うことでより多くの方から親しまれる公園を目指します。

主な取り組み ●公園愛護会活動への支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	公園緑地管理事業	地域住民から構成される公園愛護会が実施する清掃活動等に対し、協力金を支払います。	178団体	達成	地域住民から構成される公園愛護会が実施する清掃活動に対し、180団体に協力金を支払った	建設課

主な取り組み ●緑化活動推進事業に対する助成						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	緑化活動推進事業	公園、道路、河川等で緑化活動を行う団体に対し、花苗等購入費を補助します。	66団体	概ね達成	公園、道路、河川などで緑化活動を行う55団体に対し、花苗等購入費の補助を行った	建設課

(4) 保安林の保全とボランティアの育成

① 松くい虫による被害を最小限に抑えるため、関係機関との連携を強化するとともに、広域的・継続的に薬剤散布や伐倒駆除を実施します。

主な取り組み ●松くい虫被害対策の推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	松くい虫被害対策	松くい虫被害を最小限に抑えるため薬剤散布及び伐倒駆除を実施します。	薬剤散布の実施 伐倒駆除の実施	達成	春期に薬剤散布・伐倒駆除及び秋期に被害木調査を実施した。引き続き適正な時期に伐倒駆除・被害木調査などを実施していく	農政商工課

② 保安林整備ボランティアの主体的な活動への支援や団体の育成、啓発を実施します。

主な取り組み ●保安林整備ボランティアの育成支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	保安林整備ボランティア団体の活動への支援	保安林整備ボランティア団体の活動経費の支援や、活動の広報を行います。	5団体以上	達成	5団体への活動支援を行った。保安林の環境保全を図るため、ボランティア団体の活動紹介や支援など、引き続き支援していく	農政商工課
			実施	達成	ホームページを活用しボランティア団体の活動を広報している。引き続き区だよりやホームページで周知を図っていく	

(5) 3R（ごみの発生抑制、再使用、再生利用）の推進によるごみの減量

① 3Rの推進によるごみの減量を図るため、3Rの優先順位（1ごみの発生抑制、2再使用、3再生利用）に従い、取り組みを進めます。

主な取り組み ●生ごみリサイクルの推進 ●ごみの出し方、分別の周知及び意識啓発						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	ごみのリサイクルや分別に向けた啓発	生ごみの減量や家庭系ごみ分別に向けた啓発を行い、ごみ排出量を減量します。	区民1人1日あたりのごみ排出量（家庭収集のみ） 399g以下	達成	区民1人1日あたりのごみ排出量（家庭収集のみ）390g。継続的にごみのリサイクルを推進し、減量にも取り組む	区民生活課

(6) 連携による飛砂対策の推進

① 飛砂防止柵の設置や新潟大学などと連携した抜本的な飛砂対策の検討と対策を試行し、より効果的な対策を地域住民・海岸管理者などと一体となって進めていきます。

主な取り組み ●大学などとの連携による国道402号の飛砂対策の推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	飛砂対策事業	国道402号線の飛砂を防止する「抜本的対策」と、堆砂した砂を速やかに取り除く「除砂作業」を両輪で実施していくことが求められます。新たな「抜本的対策」等、持続可能な方法について有識者の意見等を踏まえながら検討していきます。	飛砂対策の推進 飛砂対策検討会議の開催（1回/年）	一部達成	飛砂対策を推進した。災害復旧を優先したことから、飛砂対策検討会議の開催を見合わせた	建設課

主な取り組み ●農地における飛砂対策の促進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	農地の飛砂対策支援事業	西区・西蒲区飛砂対策協議会と連携しながら、助成制度を活用して農地への飛砂被害を抑制します。	協議会事業として実施（負担金支出）	達成	飛砂防止対策協議会に負担金を支出することで飛砂被害の抑制に取り組んでいる。協議会として、防風資材、緑肥の購入への補助やその他飛砂対策事業を実施している	農政商工課

II 安心・安全で快適に暮らせるまち

② 海浜植物の植栽など地域住民との協働活動を推進します。

主な取り組み ●海浜植物の植栽推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	海浜植物植栽事業	海浜植物の植栽など地域住民との協働活動を推進します。	海浜植物の植栽推進 地域住民との協働活動 (1回/年)	達成	海浜植物の植栽を推進した。地域住民との協働活動(年1回)を実施した	建設課

(7) 暮らしやすいまちづくり

① 幹線道路の整備を推進します。

主な取り組み ●幹線道路網の整備						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	幹線道路網整備事業	都市計画道路や国県道を中心とした幹線道路網を整備します。	整備推進	達成	西部地域土木事務所により、(都)小新亀貝線の地盤改良工事や(主)新潟燕線(黒鳥バイパス)の改良工事を行った。今後も継続的に整備を進め早期供用を目指す	建設課

② 一般国道116号新潟西道路の整備を促進します。

主な取り組み ●幹線道路網の整備【再掲】						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	一般国道116号新潟西道路整備事業	明田地区から曽和地区までの約4.2kmを、4車線化かつ交差点の立体交差化に整備します。	整備促進	達成	新潟国道事務所と連携・調整をして、事業用地の買収とともに、工事着手説明会を開催し、明田地区の工事着手を行った。今後も新潟国道事務所と説明会開催等で連携しながら、整備促進を行う	建設課

③ 道路施設の点検やパトロールにおいて、ICT、AI、新技術を積極的に導入することで、作業の効率化・省力化を図ります。

主な取り組み ●適切な道路の維持管理に資する新技術の導入検討						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	維持管理に資する新技術の導入検討事業	道路施設の点検やパトロールにおいて、ICT、AI、新技術を積極的な導入を検討し、作業の効率化・省力化を図ります。	新技術の導入検討	達成	道路パトロール車両に搭載したスマートフォンで路面を撮影することで、走行ルートと路面の状況がリアルタイムで共有される"AIスマホ路面判定システム"を運用し、維持管理の効率化・省力化を図った。今後も新技術の導入を検討し、作業の効率化・省力化を図る	建設課

④ 冬期間も安心して通行できる道路の確保に努めます。

主な取り組み ●冬期間の道路交通確保のための除雪作業の効率化						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	除雪事業	除雪業者との連携し、冬期間も安心して通行できる道路の確保に努めます。SNSなどをを用いた区民への広報を行います。	除雪作業の効率化 SNSなどをを用いた広報	達成	積雪状況を把握する定点カメラを3基設置した。西区"X"を用いて、除雪作業の周知を行った。令和8年1月24日には、約13.5万件の閲覧があるなど好評だった	建設課

⑤ 既存の区バスや住民バスの利便性向上に取り組み、住民バスなどの地域の移動を支える適切な交通手段について検討します。

主な取り組み ●区バスの運行と住民バス運行の支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	区バス運行事業	採算性を考慮しながら区バスの利便性向上に取り組み、区民の移動手段を確保します。	区バスの運行2路線 (中野小屋、坂井輪)	達成	区バス運行2路線(中野小屋、坂井輪)。また、坂井輪ルートの小針駅乗入と利便性向上のためのルート変更調整が完了。両路線とも目標収支率を上回った(3月31日時点)。今後も収支率を維持し、継続運行を目指すための取組(利用実態に即したダイヤ調整など)を機会をとらえて実施する	地域課

II 安心・安全で快適に暮らせるまち

2	住民バス運行支援事業	公共交通空白・不便地域を最小化できるよう、地域団体が運行する住民バスの運行費等を支援します。	住民バスの運行支援2団体（佐潟、内野上新町）	達成	住民バスの運行支援2団体（佐潟、内野上新町）。また、佐潟については、令和8年度からの新形態での運行に向けた調整を委員会と共に実施し、令和8年4月1日から新形態での運行が整った。3月31日時点で、内野上新町は目標収支率達成。佐潟は目標収支率を下回った。今後も両団体の運行に係る各種支援を継続して実施する。また、佐潟の路線においては、上記の変更を踏まえ、住民に引き続き利用してもらえよう、改めて利用促進事業に取り組む	地域課
---	------------	--	------------------------	----	--	-----

主な取り組み ●地域の交通に対するニーズの把握						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	移動ニーズの把握	区政懇談会など、地域との意見交換の場を活用して移動ニーズを把握します。	機会の確保 年2回開催	達成	各地域で、春に区政懇談会、秋にミニ区政懇談会を開催し、意見交換の場を確保した。今後も各地域での意見交換の機会を確保し、意見・要望のくみ上げを行う	地域課

⑥ 運行事業者及び運行団体と連携し、公共交通をみんなで乗って支えていくための意識づくりや利用啓発に取り組みます。

主な取り組み ●SNSなどを活用したバス利用促進情報の発信						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	バス利用促進情報の発信	西区だよりやSNSなど、機会を捉えて区バス、住民バスの情報を発信することで公共交通利用に対する意識を高めます。	西区だよりやSNSでの情報発信（年2回）	達成	西区だよりで坂井輪ルートの沿線にある施設紹介を1回、坂井輪ルートの運行の一部変更のお知らせを1回、計2回特集記事を掲載済み。そのほか、バスの遅延や代車での運行など、運行情報をSNSや区バス位置情報サービスなどで随時発信した	地域課

⑦ 建物所有者に対し、適正な維持管理を呼びかけるとともに、管理不全な空き家所有者への対応は、関係部署と連携して行います。

主な取り組み ●管理不全な空き家所有者に対する対応						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	空家等対策事業	管理不全な空き家所有者に対し、必要な情報提供や指導を行います。	実施	達成	所有者に対し引き続き適切な助言と指導を行う	区民生活課 総務課

- 3 区民とともに地域の産業や商店街を応援
地域の産業を応援し、働きやすい、暮らしやすいまちづくりを進めます。

(1) 区民とともに地域の産業や商店街を応援

- ① 商工関連団体や農業関連団体などとの連携を強化しながら、区民とともに地域の産業や商店街を応援することで、まちを活性化させ、働きやすい、暮らしやすいまちを目指します。

主な取り組み ●商工関連団体や農業関連団体などとの連携による地域の産業や商店街の活性化						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	農商工連携事業	農商工連携により、国のGI登録産品「くろさき茶豆」、食と花の銘産品「いもジェンヌ（さつまいも）」の高付加価値化・ブランド化に取り組み、消費の拡大を推進するとともに、地域の活性化を目指します。	実施	達成	関係団体と連携して首都圏及び関西圏で販売促進活動を実施した。引き続き西区の特産農産物の販路と消費拡大に取り組むことで、産業を通じた地域活性化に取り組んでいく	農政商工課

主な取り組み ●地域事業者による新規事業の創出や創業のほか、事業高度化や生産性向上などの取り組みへの支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	新潟IPC財団補助金（コンサルティング事業ほか）	中小企業が抱える経営課題に対応するため、専門家によるコンサルティング事業を通じて経営状況に応じた丁寧なサポートを実施するとともに中小企業の強みづくりを支え、稼ぐ力の強化を支援します。	現状値を維持	達成	プロジェクトマネージャーなど専門家による経営相談を行っているほか、各種セミナーやイベントにより中小企業の課題解決を図っている。今後も丁寧なサポートを実施していく	産業政策課 農政商工課

II 安心・安全で快適に暮らせるまち

主な取り組み ●地域の特性を生かした新たな工業用地などへの企業立地の促進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	企業立地の促進	工業用地や支援制度などをHPやパンフレット、企業訪問等により周知します。	情報発信の実施	達成	ホームページや各種媒体を通じて工業用地や企業立地にかかる支援制度の情報発信を行っている。今後も適切な情報提供に努めていく	企業誘致課 農政商工課

Ⅲ 豊かな自然と食を楽しめるまち

1 美しい海岸線の活用

長い海岸線や広大な砂浜、美しい夕日など、魅力ある海岸一帯を活用し、豊かに楽しく過ごせるまちを目指します。

(1) 日本海タ日ラインの魅力アップ

- ① 国道402号（日本海タ日ライン）での自転車・歩行者空間や、歩行者などが夕日を展望しながら休憩できるスペースなどについて検討し、環境整備を行います。

主な取り組み ●自転車・歩行者空間としての路肩整備 ●なぎさふれあい広場の適切な維持管理および広場の利活用促進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	日本海タ日ライン整備事業	国道402号（日本海タ日ライン）において、自転車・歩行者空間としての路肩を整備します。	予算の確保に向け本庁と協議していく	達成	予算の確保に向け本庁と協議した	建設課
2	なぎさのふれあい広場維持管理事業	なぎさのふれあい広場の適切な維持管理を行うとともに、広場の利活用促進を行います。	適切な維持管理、広場の利活用促進	達成	適切な維持管理を実施し、広場の利活用促進を行った。今後も適切な維持管理を実施し、広場の利活用促進を行う	建設課

- ② 海岸侵食対策のため、国や県に対し、整備工事の推進、早期の事業完成を引き続き要望します。

No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
	海岸侵食対策事業	内野浜及び四ツ郷屋浜における海岸侵食対策の整備を促進します。	整備促進	達成	国・県に対して海岸侵食対策の整備促進について、要望を行った。今後も継続的に要望を行っていく	建設課

(2) 海岸エリアのにぎわいの創出

- ① 多様な主体と協働しながら、長い海岸線や広大な砂浜、美しい夕日など、魅力ある海岸エリアのさらなるにぎわいづくりや保全活動に取り組みます。

主な取り組み ●海岸清掃						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	海岸一斉清掃支援	毎年「海の日」に実施している海岸一斉清掃への支援・協力を行います。	西区参加者数 1,360人以上	概ね達成	R7年度参加者数 1,122人 参加者数は天候に左右されやすく、今回は好天による気温の高さが影響したと考えられる。今後も支援・協力を継続する	区民生活課

主な取り組み ●保安林の保全と飛砂対策の推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	松くい虫被害対策【再掲】	松くい虫被害を最小限に抑えるため薬剤散布及び伐倒駆除を実施します。	薬剤散布の実施 伐倒駆除の実施	達成	春期に薬剤散布・伐倒駆除及び秋期に被害木調査を実施した。引き続き適正な時期に伐倒駆除・被害木調査などを実施していく	農政商工課
2	飛砂対策事業【再掲】	国道402号線の飛砂を防止する「抜本的対策」と、堆砂した砂を速やかに取り除く「除砂作業」を両輪で実施していくことが求められます。新たな「抜本的対策」等、持続可能な方法について有識者の意見等を踏まえながら検討していきます。	飛砂対策の推進 飛砂対策検討会議の開催（1回/年）	一部達成	飛砂対策を推進した。災害復旧を優先したことから、飛砂対策検討会議の開催を見合わせた	建設課

主な取り組み ●海水浴場の開設（青山海岸、内野浜）						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	海水浴場管理事業	海水浴客の事故防止や安全対策のため、指定海水浴場に海浜事務所を設置するとともに、監視員を配置します。	実施	達成	2か所（青山、内野）の指定海水浴場の開設を行い、海浜事務所の設置や監視員の配置など、適正に管理運営を行った。今後も適切な管理運営に努めていく	農政商工課

主な取り組み ●海岸エリアを活用したにぎわいづくりへの支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	各種補助金を使ったにぎわいづくり	自治会・町内会や地域コミュニティ協議会、NPO団体などが、地域課題解決を図る活動を行う際に各種助成金の情報提供や必要な経費の一部を補助します。	海岸エリアを活用したにぎわいづくりへの支援	達成	採択した3事業を同日展開することができ、イベント広報や団体間の調整の協力も行った。R5年度採択事業は3年間の補助期間を終え、自走期に入るが同日展開してきた経験などからこの先も日程調整しながら相乗効果に期待が寄せられる	地域課

Ⅲ 豊かな自然と食を楽しめるまち

2 将来世代に向けた自然環境との共生

先人が守り育てた水辺環境などの豊かな自然を未来に引き継いでいきます。

(1) 水辺環境の保全と環境美化活動の推進

① 河川のごみ対策は、西区だけで解決できる問題ではないため、河川管理者（県）や河川の上流地域の関係機関や団体と連携して取り組みます。

主な取り組み ●ボランティア清掃に取り組む団体への支援・協力						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	ボランティア清掃活動支援	ごみ袋の提供や収集ごみの回収手配など西区の各種団体が取り組むボランティア清掃活動を支援します。	参加団体数 530団体以上	達成	549団体 自治会等の団体には地域活動清掃の相談に丁寧に対応し、企業等には地域課と連携し「環境美化パートナー制度」を呼びかけ、支援する	区民生活課
2	西区クリーン月間への支援	西区の各コミュニティ協議会等が取り組む西区クリーン月間に行う清掃活動への支援・協力を行います。	西区クリーン月間参加者数 5,830人以上	達成	8,001人 各コミュニティ協議会等が行う清掃活動への支援・協力を行った。継続的に支援・協力を行う	区民生活課

主な取り組み ●河川上流関係機関への情報提供、協力依頼						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	西区河川環境美化事業	西川、新川流域の関係機関・関係団体と連携して河川の環境美化活動の推進に取り組みます。	実施	達成	西川を守る会や越後新川まちおこしの会による西川・新川清掃への支援・協力を行った。西川を創る会事務局として継続的に支援していく	区民生活課

② ボランティア清掃活動に取り組む団体が継続して活動ができるように支援・協力をを行います。

主な取り組み ●ごみのばい捨て防止に関する啓発活動						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	ばい捨て防止啓発看板の作成・配布	地域の要望により、西区独自の啓発看板を作成・配布します。	作成・配布団体数 5団体以上	達成	20団体 自治会等からの相談に丁寧に対応し、要望に沿った啓発方法について継続的に支援していく	区民生活課

(2) 環境教育の推進

① 環境保全活動は、幅広い世代から参加してもらうことが必要ですが、感受性が豊かな子どもを対象として、楽しみながら環境について学び、考え、行動する機会を増やすことで、環境保全やきれいなまちづくりへの関心と意識を育むためのきっかけづくりに取り組みます。

主な取り組み ●地域の環境美化活動に参加する区民の増加						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	子どもエコ教室	子どもエコ教室を通して保護者と一緒に学ぶ機会に触れることで、幅広い世代の環境美化意識の向上と啓発に繋がります。	参加者満足度（アンケート調査）90%以上	達成	子どもエコ教室「らんま先生とSDGsを学ぶ科学ワークショップ」をR8.2月に開催し、アンケート調査での満足度は100%となった。ワークショップ、パフォーマンスショーなど様々な手法で、子どもたちへの環境美化の啓発活動を継続して実施する	区民生活課

② 子どもとともに大人も一緒に学ぶ機会に触れることで、幅広い世代の環境美化意識の向上と啓発を図ります。

主な取り組み ●地域の次代を担う子どもへの環境教育の推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	河川美化啓発ポスターコンクール	西区内の小学生から河川の環境に向けた啓発ポスター絵画を募集し、子どもたちの環境保全への関心を育みます。	ポスターコンクールの実施	達成	小学生から啓発ポスターを募集し、区長賞と優秀賞を選考。入賞作品を市内3か所（アビタ新潟西店、内野まちづくりセンター、西川図書館）で展示した。継続的に実施していく	区民生活課
2	子どもエコ教室【再掲】	子どもエコ教室を通して保護者と一緒に学ぶ機会に触れることで、幅広い世代の環境美化意識の向上と啓発に繋がります。	参加者満足度（アンケート調査）90%以上	達成	子どもエコ教室「らんま先生とSDGsを学ぶ科学ワークショップ」をR8.2月に開催し、アンケート調査での満足度は100%となった。ワークショップ、パフォーマンスショーなど様々な手法で、子どもたちへの環境美化の啓発活動を継続して実施する	区民生活課

Ⅲ 豊かな自然と食を楽しめるまち

3 魅力の発信と交流の促進

ラムサール条約湿地の佐潟、良好な砂丘景観、緑の田園風景など四季折々の魅力を発信し、自然を楽しめるまちを目指します。

(1) 佐潟の資源の魅力発信

① 地域住民や市民団体・教育機関などと連携し、大切な資源としての佐潟の活用を検討します。

主な取り組み ●地域や市民団体などへの支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	地域や市民活動への支援	自然環境保全活動や自然環境の賢明な利用に取り組む地域や市民団体の活動を支援します。	支援の実施	達成	ハス復活プロジェクトなどの地域活動を支援した。引き続き、潟の環境保全や賢明な利用に取り組む地域を支援していく	地域課

主な取り組み ●まち歩きを開催						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	まち歩きを開催	地域団体やボランティアガイド団体と連携し、赤塚地域・佐潟周辺の「北国街道」沿いにある観光資源を生かしたまち歩きを実施し、地域に根差した歴史や文化などの魅力を発信します。	開催	達成	赤塚地域で4回（中原邸、北国街道、木山）のまち歩きを実施した。今後も赤塚・佐潟周辺の観光資源を生かしたまち歩きを実施していく	農政商工課

② 湿地のさらなる保全に取り組み、自然環境の「賢明な利用」の促進を図ります。

主な取り組み ●佐潟水鳥・湿地センターを拠点とした啓発活動						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	佐潟水鳥・湿地センター自主事業	佐潟の自然や動植物に関するテーマの事業を実施し、自然環境保全及び賢明な利用の普及啓発を促進します。	12事業実施	概ね達成	佐潟の自然や動植物に関する事業を10事業実施した。引き続き、事業参加者に対し、自然環境保全及び賢明な利用の普及啓発を行う	地域課
2	佐潟ボランティア解説員による自然環境保全啓発活動	佐潟ボランティア解説員による自然解説活動及び月例観察会である「自然散歩・探鳥散歩」を実施し、自然環境保全及び賢明な利用の普及啓発を促進します。	24回実施	概ね達成	「自然解説活動・自然散歩・探鳥散歩」を23回実施した。（悪天候中止1回）ボランティア解説員の活動を通じて、今後も佐潟を訪れた人に自然環境保全の普及啓発を行う	地域課

主な取り組み ●地域や関係機関と連携強化						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	佐潟に関わる地域や関係機関との連携・協働	地域・地域団体や関係機関と連携し、佐潟の保全に取り組む自然環境の賢明な利用につなげます。 ・佐潟自然環境保全連絡協議会 ・新潟市里潟研究ネットワーク会議	連携・協働の実施	達成	佐潟自然環境保全連絡協議会および新潟市里潟研究ネットワーク会議に参加しました。今後も地域団体や関係機関と連携し、佐潟の保全と自然環境の賢明な利用に取り組んでいく	地域課

主な取り組み ●公園の維持管理						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	公園緑地維持管理事業	安全性を優先しながら、既存の公園緑地の保全を推進します。	公園の維持管理	達成	公園の維持管理を行った。今後も安全性を優先しながら、既存の公園緑地の保全を推進する	建設課

(2) 魅力を生かした交流人口の拡大

① 区内の魅力ある自然景観や史跡などを活用し、地域の魅力の再発見と交流人口の拡大を図るとともに、まち歩きボランティアガイドの養成に取り組みます。

主な取り組み ●自然景観や史跡・文化などを活用した地域の魅力の再発見と交流人口の拡大						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	まち歩きを開催	地域団体やボランティアガイド団体と連携し、赤塚地域・佐潟周辺の「北国街道」沿いや黒埼・内野地域にある観光資源を生かしたまち歩きを実施し、地域に根差した歴史や文化などの魅力を発信します。	開催	達成	ボランティアガイドと連携して、赤塚、黒埼、内野地域で8回のまち歩きを実施した。今後も各地域の観光資源を生かしたまち歩きを実施していく	農政商工課
2	海水浴場管理事業【再掲】	海水浴客の事故防止や安全対策のため、指定海水浴場に海浜事務所を設置するとともに、監視員を配置します。	実施	達成	2か所（青山、内野）の指定海水浴場の開設を行い、海浜事務所の設置や監視員の配置など、適正に管理運営を行った。今後も適切な管理運営に努めていく	農政商工課

III 豊かな自然と食を楽しめるまち

主な取り組み ●ボランティアガイド団体と連携したガイド養成講座の開催						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	ボランティアガイド団体の持続的活動への支援	ボランティアガイド団体の持続的活動に向けた後継者育成や技能向上に向けた勉強会の開催など団体の活動活性化を支援し、観光案内の充実を図ります。	活性化を支援	達成	各ボランティア団体の総会や定例会（勉強会）に参加するなど、組織の活性化を支援している。今後も活動の充実のための支援を行っていく	農政商工課

(3) みんなをつなぐ魅力の発信

① さまざまな広報媒体を活用し、西区の魅力や特色を区内外へ積極的に発信し、交流ネットワークを広げます。

主な取り組み ●区役所だよりやSNSなどを活用した情報発信						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	SNSを活用した魅力発信	西区の魅力やスポットをInstagram等で発信します。	西区公式Instagramフォロワー数2,200人	達成	にしくらしフォロワー数2,474人で目標値をクリアしている。フォロワー数を増やすため引き続き取材時からSNSへの登録等を促した	地域課
			SNSによる情報発信件数200件以上	達成	情報発信248件（FB24件、INS136件、X88件）取材などの媒体を使用し。継続的に情報を公開した	地域課

4 農産物のブランド化と都市・農村の交流

魅力的な農産物の生産とブランド化を進め、地域の活性化につなげます。また、食でつながる一体感の醸成と地域への愛着を育みます。

(1) 地場産農産物の消費拡大とブランド化

① 西区特産農産物のさらなる認知度向上のため、農商工連携による県内外へのPRを実施し、一層の販路と消費の拡大、高付加価値化とブランディングを進め、生産振興と地域の活性化につなげます。

主な取り組み ●県内外での西区特産農産物の情報発信						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	西区のオススメ！農産物販売促進事業	西区特産農産物の知名度向上と、販路や消費の拡大、ブランディング確立のため、その魅力を県内外にPR・情報発信します。	実施	達成	関係団体と連携して首都圏及び関西圏で販売促進活動を実施した。引き続き西区の特産農産物の知名度向上に向けて、市内外でのPRを実施し、販路と消費拡大、高付加価値化などブランドの確立に取り組んでいく	農政商工課

② 西区の農業を振興するため、生産技術の課題解決や高度な栽培機械の導入などを促進するとともに、多様な担い手の確保・育成を進めます。

主な取り組み ●持続的な農業生産への支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	生産性向上に向けた機械導入への支援	農産物の品質や生産性の向上などに向けた機械・設備の導入を支援します。	実施	達成	各種補助事業を活用し、生産性向上に向けた機械・設備の導入を支援した。引き続き、補助事業を活用した機械導入を支援していく	農政商工課
2	未来を拓く農業支援事業	西区内の女性農業者を対象としたスキルアップやネットワーク化を推進します。	実施	達成	快適トイレを5か所でモデル設置したほか、視察研修を実施した。次年度以降は、若手農業者も含めた「多様な担い手」を対象にフォローアップしていく	農政商工課

(2) 都市・農村の交流と「農」を通じた食育の推進

① 生産者と消費者が触れ合う、農業を学ぶ場・体験の機会を提供し、農業への理解と地域への誇りや愛着を育む取り組みを進めます。

主な取り組み ●収穫体験など農業を学ぶ場や体験の機会を提供することによる都市と農村の交流の推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	こども農業体験事業	都市部住民の「農業」への理解と知識を深めるため、親子向け収穫体験事業を実施します。	実施	達成	8品目（米、すいか、人参、茶豆、メロン、サツマイモ、プロッコリー、かぶ）で10回のこどもを対象とした収穫体験を実施した。引き続き、農業への理解促進のため農業体験事業を実施していく	農政商工課

Ⅲ 豊かな自然と食を楽しめるまち

② 「食」と「農」への関心を高められるよう、学校給食への地場産農産物の提供や収穫体験などを通じた食育を推進します。

主な取り組み ●学校との連携による地場産農産物の周知と消費拡大						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	小学校との食育連携事業	子どもたちの「食」への関心を高めるため、区内の小学校と連携し、地場農産物の収穫体験や学校給食での提供など、「農」を通じた食育事業を行います。	区内全小中学校で実施	達成	区内小学生による大根の収穫体験や、地場産コシヒカリ、大根、いもジェンヌなどを小・中学校の学校給食や幼・保育園のおやつで提供した。引き続き地元産農産物への理解促進を図っていく	農政商工課

Ⅳ 区民が主役の活力あるまち

1 住民自治の推進とさらなる協働の推進

自治会・町内会、地域コミュニティ協議会など、地域における自治を進め、区民と区役所が共に地域課題に取り組みます。

(1) 区自治協議会との協働

① 地域課題をよりの確に把握し解決を図るため、自治協議会との連携を強化するとともに、自治協議会の活動がより活性化するように取り組みます。

主な取り組み ●区自治協議会提案事業の実施						担当課
No.	事業名	事業概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	区自治協議会提案事業の実施	地域課題の解決や地域活性化を図るため、区自治協議会が自ら事業を企画運営します。	4事業以上の支援	達成	計7事業の実施支援を行った。来年度の事業実施に向け、引き続き支援を行っていく	地域課

主な取り組み ●区自治協議会委員研修会の実施						担当課
No.	事業名	事業概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	区自治協議会委員研修会の実施	区自治協議会が、協働の要として地域の特色・実情をふまえたまちづくりや地域課題の解決に取り組めるよう、委員を対象にした研修を行います。	区独自1回以上実施	達成	2月にオンライン形式で講師を招き、地域のつながりを題材とした研修を行った。本研修での学びを基に、来年度の「西区を元気づける事業」を実施(企画・調整)する	地域課

(2) 持続可能な地域づくり

① 自治会、町内会、地域コミュニティ協議会、NPOなど、多様な主体が行う地域課題や社会課題の解決に向けた主体的な取り組みを支援します。

主な取り組み ●地域活動に参加する市民を増やす取り組みへの支援 ●地域の次代を担う人材の育成への支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	地域活動補助金	自治会・町内会や地域コミュニティ協議会、NPO団体などが、地域課題解決を図る活動を行う際に必要な経費の一部を補助します。	事例の共有	達成	自治会・町内会・地域コミュニティ協議会、NPO団体などが実施する121事業に対して交付決定した。また、全15コミ協に対して、次年度実施する事業の相談対応を実施した	地域課
2	自治会・町内会の運営支援	自治会・町内会に対し、市政情報の回覧・配布業務などの事務委託に伴う活動財源を提供するとともに、集会所確保に関する費用の一部を補助するなどの運営支援を行います。	事務委託料 314自治会	達成	314自治会に、事務委託料を支払中(6月、9月、12月、3月の4回払い) 集会所立替1件、大改修1件・修繕3件に対して集会所建設費補助金を交付した	地域課
3	地域コミュニティ協議会の運営支援	地域コミュニティ協議会が活発な活動を展開できるよう、事務的な経費や事務所借上経費の一部を補助するなどの運営支援を行います。	運営支援 15団体	達成	地域コミュニティ協議会15団体に対し、事務的経費を補助。安定した協議会運営を支援している。2団体については、事務所借上経費を毎月補助した	地域課

(3) 広報・広聴の充実

① 行政情報や地域の情報を、さまざまな広報媒体を活用し、正確かつ迅速に、分かりやすく発信します。

主な取り組み ●区役所だよりやSNSなどを活用した情報発信の充実						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	西区だよりの発行	生活に役立つお知らせや地域の話題等の身近な情報を区民に発信します。	継続実施	達成	数多くある区の情報をSNSやホームページと連携しながら区民にわかりやすく伝えられた。今後も同様に情報発信に努める	地域課
2	西区ホームページの運営	市民等の情報入手手段の多様化に対応するため、新たな発信手段を導入し、検証・改善を図りながら効果的な運用を行います。	検証・改善	達成	区だより、各種SNSと連携にて情報発信し、詳しくはホームページで確認できるよう効果的な運用を行えた。今後も同様に情報発信に努める	地域課
3	西区公式SNSの運営	市民等の情報入手手段の多様化に対応するため、新たな発信手段を導入し、検証・改善を図りながら効果的な運用を行います。	西区公式Xフォロー ワーカー数1,800人	達成	Xフォロワー数2,184人 Xの利用について、緊急放送的な内容を対象としたルールで行っている。引き続き、効果的な運用を模索する	地域課

② 区に対する意見・要望などニーズの把握に努め、区政に生かしながら暮らしやすいまちづくりを目指します。

主な取り組み ●広聴の充実						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	区長への手紙への対応	手紙やメールにより市政に対する意見・要望を得て、区政運営及び施策策定に生かします。	継続実施	達成	いただいた意見・要望を関係係部署で検討し、区政運営及び施策策定に生かすことができた	地域課

IV 区民が主役の活力あるまち

主な取り組み ●若者会議（仮称）の開催						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	Meetup!NiigataWEST 2040	2040年に想定される変化や課題を見据え、バックキャストの視点から西区の将来を主体的に考え、対応策を実践できる若手委員を中心とした組織づくりと支援を行います。	イベントの開催	達成	西区で活動する個人、団体などが対象の交流イベントを全5回開催し、参加者同士の交流を深めるとともに、地域活動に関して学びを深める場を提供した。今後もプレイヤーの緩やかなコミュニティを維持するため、交流・学びの場を提供するとともに、来年度は海辺の活用に向けた基礎資料とする海辺の魅力ブランドビジョン作成に着手する	地域課

2 大学との連携

大学と地域がお互いにより身近な存在となり、大学の知と学生の力が、地域ににぎわいと活力を生み出すまちを目指します。

(1) 地域と大学の交流と連携の推進

① 大学が多く立地している西区の特徴を生かし、地域と大学の距離をさらに近づけることで、大学の持っている学術と、大学に集う学生の力を地域の活力につなげるとともに、学生が学びの成果を実践できる場を提供します。

② 現在取り組んでいる事業だけではなく、どのような連携が地域や大学側で求められているのかニーズを把握し、より連携が活発化するよう取り組みます

主な取り組み ●地域と大学の関係づくり						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	地域と大学連携事業	大学と地域がお互いにより身近な存在となり、大学の知と学生の力が、地域ににぎわいと活力を生み出せるまちを目指し、地域と大学、学生の双方がお互いを受け入れるための土台づくりや連携の支援をします。	連携の実施	達成	大学・短大から応募いただいた5事業について、提案事業を実施していただき、多くの参加者があった。今後も提案事業を公募し連携の実績の積上げを図る	地域課

主な取り組み ●地域と大学の多様な取り組みへの支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	地域活動補助金【再掲】	自治会・町内会や地域コミュニティ協議会、NPO団体などが、地域課題解決を図る活動を行う際に必要な経費の一部を補助します。	事例の共有	達成	自治会・町内会・地域コミュニティ協議会、NPO団体などが実施する121事業に対して交付決定した。また、全15コミ協に対して、次年度実施する事業の相談対応を実施した	地域課

主な取り組み ●区役所と大学の連携						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	大学との連携事業の実施	大学と地域がお互いにより身近な存在となり、大学の知と学生の力が、地域ににぎわいと活力を生み出せるまちを目指し、区と大学が相互に協力することで、大学の持つ学術を地域へ還元します。	区役所で行う大学との連携事業数 12件	達成	地域と大学連携事業5事業を含め、12件の事業を連携した。今後も大学も含めた多様な主体との協働に努めていく	地域課

3 地域との連携による開かれた学びの推進

大学、公民館、図書館などの学びの場を活用し、地域に根差した学び合いを応援するとともに、豊かなまちづくりに向けて多様な連携を深めていきます

(1) 多様な学びの場づくり

① 地域の実情や市民の学習ニーズの把握に努め、各世代の学習活動を支援するさまざまな学びの場を提供していきます。

主な取り組み ●家庭教育・子育て支援の充実						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	家庭教育振興事業	プレママ・乳児期・幼児期・児童期・思春期など子どもの成長期にあわせた各種家庭教育学級を実施します。	各種家庭教育学級の実施 17事業	達成	18事業を実施した。今後、来年度事業について検討する	坂井輪地区公民館
2	子育て支援事業	公民館に乳幼児期等の親子が自由に出入りできる場所を設け、親同士の交流を促進します。	子育てサロン開設数 3館	達成	坂井輪・西・黒埼の3館で実施した。引き続き、実施する	坂井輪地区公民館

主な取り組み ●多様な学習機会の提供						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	現代的課題を学ぶ公民館事業	市民の主体的な学習活動を推進するため、市民の学習ニーズに応じた多様な学習機会を提供します。	現代的課題解決を促す学習機会の提供 32事業	達成	42事業を実施した。今後、来年度事業について検討する	坂井輪地区公民館

Ⅳ 区民が主役の活力あるまち

② 新潟大学などとの連携を深め、さまざまな学習活動に気軽に参加できる環境づくりを行うとともに、地域と学生をつなぐ事業を進めます。

主な取り組み ●大学などとの連携による学習活動の推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	大学等連携事業	公民館を会場とした子ども体験活動を行うなど、子どもたちに学校とは違う学びの場や居場所を提供します。	大学との連携事業2事業	達成	3事業を実施した。今後、来年度事業について検討する	坂井輪地区公民館

③ 地域団体などとの連携を推進しながら、各種事業に取り組みます。

主な取り組み ●地域団体などの活動の支援・推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	地域コミュニティ活動活性化支援事業	地域住民が主体となって地域の抱える課題を把握し解決方法を探ることができるよう、地域団体と連携・協力した講座等を実施します。	地域コミ協等と連携した講座の実施27事業	達成	62事業を実施した。今後、来年度事業について検討する	坂井輪地区公民館

④ 図書館の役割である課題解決の支援につながる情報・資料などの提供や子どもの読書環境整備のため、さまざまなサービスや事業を実施します。

主な取り組み ●さまざまな課題解決の支援や情報・資料などの提供の継続						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	課題解決支援事業	市民に身近な生活課題解決につながる事業やテーマ展示を実施します。	身近な生活課題解決につながる事業の実施（西区3館合計）6回	達成	坂井輪・黒崎図書館で行政書士無料相談会を5回、坂井輪図書館で相続講座を1回開催し、目標を達成した。今後も同様の講座を開催し、市民の課題解決に役立ててもらう	坂井輪図書館
			資料のテーマ展示回数（西区3館合計）190回	達成	身近なテーマや季節を感じられるテーマ展示、市や区との連携展示を223回行った。引き続き、市民の関心が高いテーマ展示を実施し、図書館の本を暮らしに役立ててもらう	坂井輪図書館

⑤ デジタル化が進む図書館サービスの利用困難者に向けた支援を行います。

主な取り組み ●市立図書館全体でサービス提供体制を検討						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	来館困難者に向けたサービス事業	新たな図書館サービスを提供できるような仕組みづくりを検討し実施します。	検討	達成	新潟市の図書館全館でのサービス検討が必要なため、引き続き中央図書館と連絡調整する	坂井輪図書館

主な取り組み ●デジタル利用支援のための講座を開催						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	デジタル利用支援事業	図書館サービスのデジタル利用を支援する講座を開催します。	個別講座 8回	概ね達成	実施回数は7回。図書館の個人向けページ（Myライブラリ）の活用方法や電子書籍の使い方の個別操作支援を行い、好評を得た。引き続きデジタル技術を活用した図書館サービスのPRに努め、利用者の利便性を向上させる	坂井輪図書館

(2) 地域と学校の連携

① コミュニティ・スクールが導入されたことにより、「学校運営協議会」の場で地域と学校が教育方針を共有しながら学校運営を進めます。

主な取り組み ●学校を拠点とした、地域と学校を結ぶネットワークづくりの推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	コミュニティ・スクール講座の開催	学校運営協議会の関係者などの協働をデザインし、ファシリテートする人材や機能を育成します。	講座の開催	達成	年2回コミュニティ・スクール講座を開催した	教育支援センター

主な取り組み ●総合学習などのメニューとして活用できる事業を実施						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	区役所等が実施する事業の情報を学校園へ提供	区等が実施する事業を総合学習などに活用できるよう情報を集約し、小中学校・幼稚園に情報提供を行い、総合学習の成果を広報で紹介します。	活用可能事業を取りまとめ、学校・園へ情報提供を実施。区だよりで各校の総合学習での取組を紹介。	達成	5月に西区と幼小中学校園との懇談会を実施した。6月に西区各課の活用事業をとりまとめ、情報共有した。2月に区だよりで総合学習の取組を紹介した	教育支援センター

Ⅳ 区民が主役の活力あるまち

- ② 学校と地域や公民館などの社会教育施設の活動をつなげる地域教育コーディネーターを核としたネットワークづくりを推進します。
コミュニティ・スクールにより、学校での取り組みを今まで以上に地域に向けて発信し、地域教育コーディネーターの育成や学校ボランティアへの積極的参加を推進します。

主な取り組み ●地域教育コーディネーターの育成と活動支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	地域と学校パートナーシップ事業	地域教育コーディネーターの研修を実施し、各学校の地域と学校パートナーシップ事業での取り組みを広報で紹介します。	区内のコーディネーターの研修を実施。区だよりで各校パートナーシップ事業の取り組みを紹介	達成	年4回区内のコーディネーターの研修を実施した。2月に区だよりで総合学習の取組を紹介した	教育支援センター

- ④ 子ども見守り隊の活動を応援し、警察などの関係機関と連携を図りながら通学路などにおける子どもの安全対策や防犯対策に取り組みます。【再掲】

主な取り組み ●見守り活動をはじめとした学校活動へのボランティア参加を推進						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	IoT技術を活用した登下校子ども見守り事業【再掲】	見守り活動を補完するため、子どもの位置情報を記録する見守り端末を無償で配布します。	全校で実施	達成	区内全小中学校で見守り事業を実施している	総務課

主な取り組み ●通学路の危険箇所の対策【再掲】						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	通学路交通安全推進事業【再掲】	地域や警察、学校関係者と連携を図りながら通学路などにおける危険箇所の対策に取り組みます。	危険箇所の対策	達成	地域や警察、学校関係者と連携を図りながら通学路などにおける危険箇所の対策に取り組んだ。今後も、危険箇所の対策に取り組む	建設課
2	通学路交通安全推進事業【再掲】	教育支援センター、建設課、西警察署の三者が連携し、学校や地域とともに通学路の合同点検を実施、西区通学路安全対策推進会議において対策の方針を取りまとめます。	西区通学路安全対策推進会議の開催。 (年2回) 危険箇所の合同点検の実施	達成	6月、8月安全対策推進会議開催、7月危険箇所の合同点検実施した。今後も交通安全プログラムのPDCAサイクルを繰返し実施して行く	教育支援センター

4 文化とスポーツの振興

地域の歴史や音楽などの文化活動や、スポーツなどに親しむ人を応援し、区の活力につなげます。

- (1) 区民の主体的な文化活動への支援

- ① 文化芸術に触れる機会を増やすため、学校や地域と連携した支援を行います。

主な取り組み ●文化芸術に関連する大学などとの連携						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	西区アートプロジェクトの開催	文化芸術活動の盛んな区の特性を活かし、新潟大学、行政及び地域団体等が実行委員会を形成して協働で事業を実施し、地域の魅力発信や次世代を担う子どもたちの創造力や地域への愛着を育む事業に取り組みます。	実施	達成	大学・行政・地域が連携し、文化芸術を通じた地域活性化を目的とした「うちのアートプロジェクト」を実施した。今後も多様な主体との協働を進め、地域の魅力向上につながるアートプロジェクトを推進する	地域課

主な取り組み ●地域に根ざした文化活動への支援						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	補助金等による文化活動への支援	各種補助金等の周知・情報提供を行い文化活動を支援します。	実施	達成	地域資源を生かした文化活動として「オーライ！発酵街道開」や、大学・行政・地域が連携する「うちのアートプロジェクト」を実施・支援した。今後も多様な主体との協働を広げ、文化活動を支援していく	地域課

- ② 文化芸術活動を支える環境を整え、区民の主体的な文化芸術活動が活性化するように、活動を支援します。

主な取り組み ●歴史・文化の情報発信						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	広報等による情報発信	地域の歴史や文化に関する情報を西区だより等で発信します。	実施	達成	「発酵街道開」の取組を西蒲区と連携して区だよりに掲載したほか、SNSを活用して幅広い世代に情報を発信した。引き続き、地域の歴史や文化など魅力を発信した	地域課

IV 区民が主役の活力あるまち

主な取り組み ●文化芸術に親しむ機会の確保						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	西区アートプロジェクトの開催【再掲】	文化芸術活動の盛んな区の特性を活かし、新潟大学、行政及び地域団体等が実行委員会を形成して協働で事業を実施し、地域の魅力発信や次世代を担う子どもたちの創造力や地域への愛着を育む事業に取り組みます。	実施	達成	大学・行政・地域が連携し、文化芸術を通じた地域活性化を目的とした「うちのアートプロジェクト」を実施した。今後も多様な主体との協働を進め、地域の魅力向上につながるアートプロジェクトを推進する	地域課
2	アートに親しめる機会の提供	区内で活動する音楽・芸能団体を幅広く知ってもらい、大学等との連携による音楽・芸術の作品展示を加え、地域に親しめるイベントを開催します。	開催	達成	「うちのアートプロジェクト」を開催し、杉玉づくりワークショップなど地域資源を活用した参加型アート体験を通じて、住民がアートに親しみ、地域文化を深く理解できる機会を提供した	地域課

主な取り組み ●文化施設の維持管理						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	市民会館の管理運営	西新潟市民会館および黒埼市民会館を快適で、利用しやすい施設として管理・運営します。	実施	達成	一部施設では老朽化が進んでいるが、今後も適切な補修を行い、快適で利用しやすい施設の管理運営に努めていく	地域課

(2) スポーツに親しむ機会の提供

- ① 体を動かすことの習慣化による体力の向上、生涯にわたった健康の維持と生きがいのある生活を営めるようスポーツを支える環境を整え、誰もが気軽に参加できるスポーツの機会を提供します。

主な取り組み ●楽しめ、親しめる各種スポーツ教室の開催						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	西区スポーツマイルプロジェクト	区民の継続したスポーツ・運動の習慣化に向けたきかけづくりを提供するとともに、多くの人からスポーツ・運動の楽しさや喜びを感じてもらい、夢や希望を育む支援に繋げ、区民の交流機会を創出します。 ・かけっこ教室(春)(秋) ・成人向けランニング・ウォーキングセミナー ・プロアスリート教室 ・西区ウォーク ・マリンスポーツ教室	各事業で実施するアンケートでの満足度85%以上	概ね達成	各種スポーツイベント参加者にアンケートを実施し満足度77%以上を獲得した。引き続き、区民の健康増進及び交流機会の創出に繋がるような事業を企画し運営していく	地域課

主な取り組み ●スポーツを支える環境づくり						担当課
No.	事業名	概要	R7年度目標	評価	実績と今後の方向性	
1	地区スポーツ振興会補助金	地域のスポーツ振興と活性化を推進するスポーツ推進委員を中核とした校区スポーツ振興会に対して補助金を交付し、地域の特性に合ったより身近なスポーツ事業の展開を図り、スポーツの振興を支援します。	実施	達成	西区区内全てのスポーツ振興会に補助金を交付した。今後も当該補助制度を通じて、地域におけるスポーツ事業の展開を支援していく	地域課
2	地区スポーツ振興会との連携	地区スポーツ振興会及びスポーツ推進委員とともに、健康維持管理と区民の親睦を目的とした活動への支援を行い、より地域に根ざした生涯スポーツの振興を支援します。	実施	達成	地区スポーツ振興会やスポーツ推進委員と連携し、佐潟ウォークを実施した。今後も前述の団体等と連携し地域の生涯スポーツの振興を支援する	地域課
3	スポーツ施設の維持管理	西総合スポーツセンターをはじめとする各種8施設について、適正に管理し利用者数の向上を図ります。	所管8施設の年間利用者数45.3万人	達成	所管8施設で年間約47万人に利用いただいた。今後も施設を適正に管理し、市民が利用しやすい施設環境を整えていく。(R7西総合スポーツセンタープール改修工事につき閉館)	地域課